



平成20年11月1日(月)発行 【隔月(年6回)発行】

発行部署 : 陸運事業本部ソリューション部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4620
発行責任者 : 中島 英男
お問合せ窓口 : 古田 泰幸

第78号

[目次]

1. 滋賀営業所、守谷営業所開設
2. 高速道路料金引下げについて
3. 国際物流総合展2008を観て
4. 構内物流解析手法紹介
5. 衛星場所自慢 Part2 ~第10回 東北営業所~
6. 「グリーンロジスティクス実現に向けたITの活用」セミナー参加報告
7. 中国訪問記(最終回)



1. 滋賀営業所、守谷営業所開設

当社では、平成20年4月に滋賀営業所、8月に守谷営業所を開設いたしました。

従来、滋賀地区の物流元請業務及びSP管理業務は、三重県四日市市にある中部支社にて行っておりました。今回、物流品質の高度化やSP管理レベルの向上を目的として、滋賀地区の主要荷主殿、管理SPから10km範囲内という絶好のロケーションにある滋賀県米原市に滋賀営業所を開設し、4名のスタッフが奮闘しています。

一方、守谷営業所は茨城県つくばみらい市にあるM社業務の新規受託に伴い、今年8月に5名体制でスタートしました。同社で生産される農業用フィルムの入庫～保管～出荷～納品までの物流元請業務が主な業務ですが、順調な滑り出しを見せております。

当社では、輸送ガイドラインの設定及びRC活動等による安全QA強化、ロケーション管理等による倉庫管理強化、LIFE手法による最適物流の検討等により、今後も荷主殿のご要望にお応えしてまいります。



2. 高速道路料金引下げについて

8月下旬に政府より発表された「安心実現のための緊急総合対策」に基づき、国土交通省より高速道路料金引下げの進め方について発表されております。原油価格高騰への対応に重点化し、下記の内容で取り組むこととなっております。

- ①物流の効率化:深夜割引の拡充、夜間割引時間帯の拡大(平日)
- ②地域の活性化(観光振興):地方部における休日昼間時間帯の割引導入

その具体的な内容については、次の通りとなります。

1. 高速道路(一部の一般有料道路を含む)

9/16～来年9/30(前倒し実施): 平日夜間3割引(22～0時)、休日昼間5割引(9時～17時)

10/14～来年9/30 : 平日深夜5割引(0～4時)、休日深夜5割引(0時～4時)

※対象:平日割引は全車種、休日割引は普通車以下、休日深夜5割引は、来年1/31まで

2. 本州四国連絡道路

9/16～来年9/30(前倒し実施): 平日夜間3割引(22～0時)、平日深夜4割引(0～4時)

休日昼間5割引(9時～17時)

10/14～来年9/30 : 平日深夜5割引(0～4時)

※対象:平日割引は中型車以上、休日割引は普通車以下

但し、大都市近郊区間については内容が異なっております。また、割引の対象期間が一部異なるほか、対象距離・回数等の制約もございますので、詳細につきましては、各高速道路株式会社、国土交通省のホームページ(<http://www.mlit.go.jp/road/index.html>)をご覧ください。

なお、前号に掲載しました首都高の距離別料金の導入に関しましては、当面延期されることが発表されました。

3. 国際総合物流展2008を観て

9月9日から9月12日の4日間、東京ビックサイトで「国際総合物流展2008」が開催されました。この物流展は最新の物流機器、車両、システム等を紹介する2年に1度の大会であり、広大なスペースに多数のブース(410社1991ブース)が並び多くの人でにぎわい、行く先々で展示品の説明が行われておりました。

今年の物流展は従来の物流展の内容に加え、最先端の技術を垣間見ることが出来ました。特にロボット化の躍進が目立ち、自律走行型で障害物を回避する機能を持ったロボットや倉庫のピッキングを高速、静音で行う無人搬送車などが紹介されていました。また、車両ではハイブリッドタイプで省エネを考慮したものが数多く見られ、今の時代を感じさせるものでありました。

今後、これらの物流機器を購入、更新するには、大きな投資が必要となり、現在の厳しい情勢の中では中々難しい状況ですが、将来を考えるとロボット化などは充分期待出来る分野だと考えます。

主な出展分野

1 保管機器システム	9 サードパーティーロジスティクス
2 仕分けシステム	10 ソフトウェア
3 ピッキングシステム	11 エンジニアリング・コンサルティング
4 搬送システム	12 保管・輸送サービス
5 産業車両	13 物流機器部品
6 運搬車両	14 物流関連環境システム
7 パレット・コンテナ	15 物流施設開発・投資
8 包装システム	16 企業誘致PR

来場者数

9月9日 火	25,933 人
9月10日 水	39,987 人
9月11日 木	34,433 人
9月12日 金	36,223 人
計	136,576 人
前回	124,772 人

国際総合物流展ホームページより

4. 構内物流解析手法紹介

今回は、LIFEスタート時から行っています構内物流の調査・解析方法についてご紹介します。

これはIE(Industrial Engineering=生産工学)の考えを応用し、当社が独自に開発したもので、製品組立・包装や倉庫での業務を調査し、その内容とデータ(取扱量など)をもとにムダ・ロスを抽出することができます。

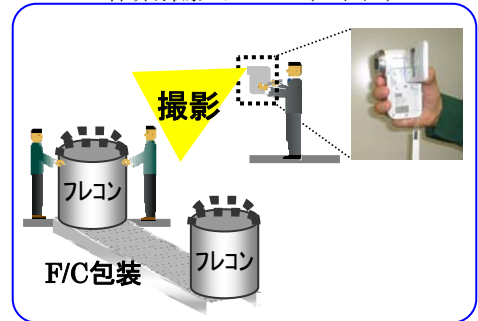
主な解析手法として、作業者・工程・動線・機械稼働分析がありますが、今回は製品組立・包装のような繰り返し作業の解析に適した「工程分析」について手順を説明いたします。

解析手順

- ①対象作業をビデオカメラで撮影(※図1)
- ②ビデオカメラの映像をPCに取り込む
- ③取り込んだ映像をもとにOTRS(解析ツール)を使用し各作業のサイクルタイムを算出(※図2)
- ④その結果をもとにムダ・ロスを抽出

解析技術の向上に努め、お客様に評価して戴ける「効率化提案」が出来るよう邁進してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

作業撮影イメージ(※図1)



OTRS解析画面(※図2)

(Operation Time Research Software)



5. 衛星場所自慢 Part2 ～第10回 東北営業所～

東北営業所は、平成15年10月福島県田村市常葉町に開設しC社東北工場で生産される食品トレーの物流全般を担っています。

当営業所のある田村市常葉町は、福島県のほぼ中央、阿武隈高原に位置し、平成17年3月に4町1村が合併し田村市となりました。気候は年間の気温較差が大きく、降雨・降雪量が少ない表日本内陸山間型の特徴を持っています。高原特有の気象状況から、最近では都心を離れて移住する人も見受けられます。日本人初の宇宙飛行士秋山豊寛さんもその一人です。

お隣三春町の「滝桜」(右下写真)は樹齢1000年を超える国内有数の名木として知られ、岐阜県の淡墨桜、山梨県の神代桜とともに日本三大桜として有名です。毎年全国から20万人の観光客が訪れています。滝桜の他にも多くの桜の名所があり、船引町の「小沢の桜」は映画『初恋』の舞台となり女優の田中麗奈さんらが来て撮影が行われました。

また、田村市滝根町にはおよそ8000万年という歳月をかけて創られた鍾乳洞「あぶくま洞」があります。全長600mの洞内にはここでしか見る事の出来ない形の貴重な鍾乳石を間近で鑑賞することができます。このあぶくま洞の地下水は、カルシウムやミネラル成分をバランスよく含んだ名水「あぶくまの天然水」として、5年連続モンドセレクション大金賞を受賞しているおいしい水です。

同市より足を延ばすと、日本テレビで放映中の「ザ・鉄腕！ DASH！！」のDASH村があります。福島県にDASH村があることをご存知でしたか？この地域の方は、番組に出演している三瓶明雄さんのように人情味溢れる方ばかりですよ。

東京から新幹線、磐越東線を乗り継いで2時間足らず。おいしい水とおいしい空気、そして澄み切った空のある福島にぜひ一度桜の季節にでも足を運んでみられては如何ですか？



三春滝桜

6. 「グリーンロジスティクス実現に向けたITの活用」セミナー参加報告

7月に「グリーンロジスティクス実現に向けたITの活用」というセミナーに参加しました。

まず、経済産業省及び野村総合研究所の基調講演があり、物流会社のグリーン物流の取り組みの紹介がありました。京都議定書でのCO2の6%削減目標に合わせ、物流業界ではCO2削減に向けモーダルシフト、共同配送による積載率の向上、配送ルートの見直し、梱包資材の再利用等の取り組みを行なっています。

また、当社も参加している「グリーン物流パートナーシップ会議」(経済産業省等主催)では、CO2削減に向けて荷主と物流会社が共同で取り組んでおり、ITを利用したグリーン物流の紹介がありました。平成19年度経済産業大臣表彰として、富士通社が表彰を受けています。表彰事業内容は、調達と転送と配送でそれぞれ配車していたものを、調達から販売までの一貫したプロセスにおいて、出荷情報を集約し、集中コントロールによる配車を実現した結果、CO2を313トン/年(削減率21%)を削減しています。その他の企業では、RFIDを利用した事業として、包装資材の削減と倉庫内作業効率化、空きパレット回収のためのトラック配車効率化等の紹介がありました。

当社でも低コストで最大の環境対策効果を上げるには、ITの活用が必須であると考え、CO2計算をシステム化しています。

グリーン物流の詳細については、<http://www.greenpartnership.jp/>を参照願います。

7. 中国訪問記 (最終回)

今回は中国における物流状況についてご報告いたします。

中国は2000年WTO加盟以降外資企業の誘致政策等により急激な経済発展を遂げています。物流においては、2004年12月以降、道路貨物運送業・鉄道貨物運送業・倉庫業などの分野において外資100%の独資企業の設立が可能となりました。

また、経済発展による物流量の増加に伴い、物流の基盤であるインフラの整備も進められています。物流のハード面の強化は着々と進められ、市場の開放により中国物流業界は発展期に向かっていますが、今後日系物流企業が更に発展するためには、ソフト面の強化へ如何に取り組んでいくかが重要になります。荷物の取扱・管理をする人材は現地での採用になりますので、物流の知識を習得した人材の確保が重要であり、また安全QA面においては、文化の違いによる認識の差を埋めていく必要があると思います。まずは現地企業と手を組み、現地企業のネットワークと我々の物流ノウハウ(安全QA・システム等)を共有することで中国での物流事業が更に発展していくものと思います。

※中国インフラ整備状況

道路:中国の高速道路総延長は4.5万km(2006年)、2020年に8.5万km予定

港湾:洋山深水国際港を2020年にコンテナバース50、取扱量2.5千万TEU予定

編集後記

ソリューション部 立野 仁徳

初めまして。9月より、ソリューション部に配属になりました。私は柔道を始めて17年目になりますが、柔道も突き詰めて行くと、今まで学んだ技術をいかに簡単に行うか、言い換えればいかに動作の中の無駄を省いていけるかがパフォーマンス向上の一つの大きなポイントになります。また、初心を忘れず「当たり前のこと」を確実に続けていけるかということが、いずれ出る結果を大きく左右することをつくづく感じております。大リーグのイチロー選手は、「当たり前のことやり続けることが、とんでもない所へ行く唯一の手段」と言いましたが、これはスポーツ、ビジネスを問わず、すべてに共通する言葉であると深く感銘を受けました。良いビジネスマンである前にまずは人間として「当たり前のこと」を大切にできる自分でありたいものです。